

114
A 3156

勸業
第七百
四十六号

三六十四

録記	付受
第	第
号	号



二月廿八日
郵部

明治九十二年
二月十七日
出

内務卿
弟 久保

大藏卿
弟 七保

大藏卿

輔

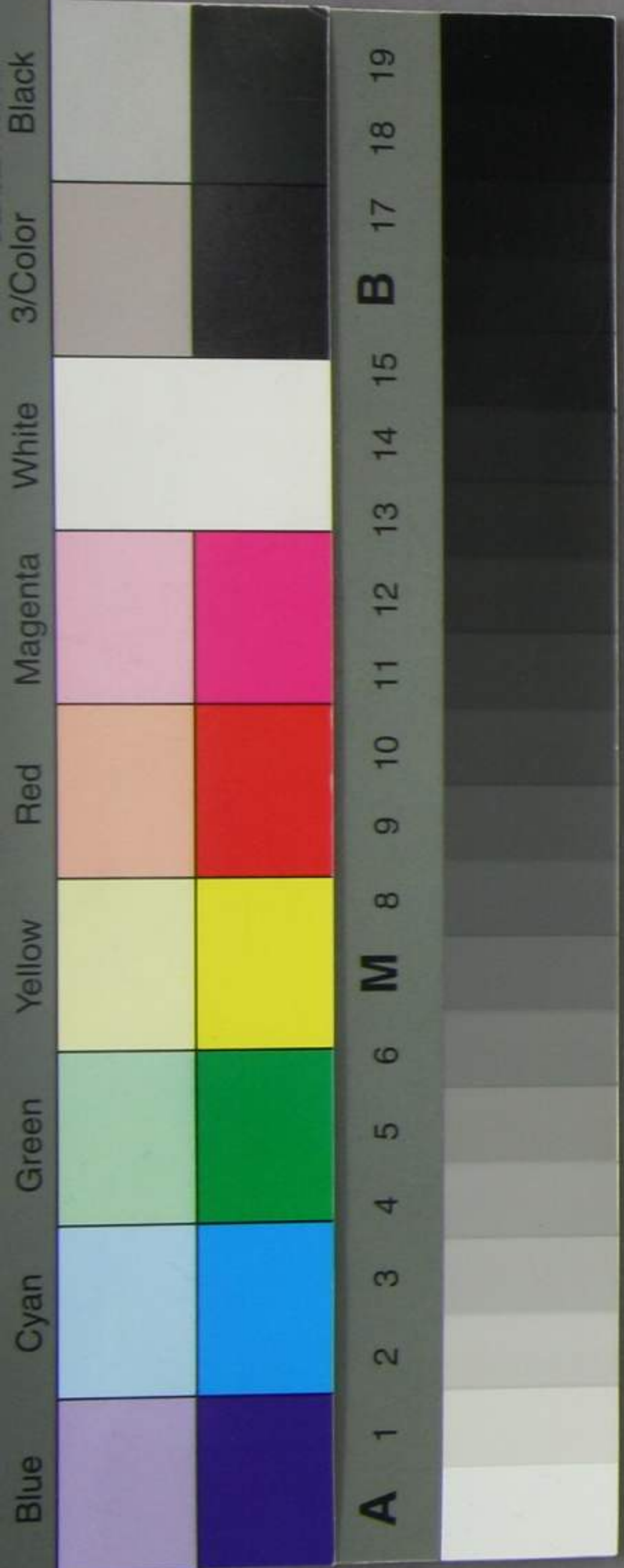
勸業

石川音神
勸業
勸業

弟 一多 俊法

一 沙己

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈



九年第一号

謹テ恭賀隆盛ナル明治第九年ノ新年ヲ奉賀候任テ萬國
 貿易トノ景況ハ概シテ申セハ別ニ變シタル姿無之此節
 先ツ靜ナル方ニ有之候「クリスマス」及新年ノ造物ノ買物
 等ニテ店々ハ各市共去暮中頗ル賑敷事ニ有ルヒシガ
 是レハ例年ノ事ニ有ク店々ニテハ平常待設居ル事故大
 貿易ノ上ニ於テハ危ノニ變態ヲ顯ワスヘキ理ニモ無ク
 候且少シリ人氣ニ關係可致候去十二月七日大統領「クラ
 氏新聞議院ニ送シ公文ニ茶及「コーヒー」ノ輸入税ヲ再課
 スヘキ便有之シガ此儀ハ此國ニ當年要スル金額ヲ助ケン為
 何レカノ税ヲ以テ取上ク「キヲ茶及ヒコヒー」等ノ輸入ヨリ取
 レハ収税ノ入費少クシテ且人民ヘモ害ヲ蒙ラスルコトキト
 見込ニ起リシ「ニテ壹斤ニ付茶ニハ九金拾五錢「コヒー」ニハ

振

板

画

建請用

内 承 首

内 務 省

寺介ニ付九金三錢ヲ課スヘキ下議論ノ趣且又之ヲ課スレハ九
毫千八百兩程ヲ得ヘキ見込ノ由ニ在然ルニ此後ニ付テハ茶商
ハ恐ラクハ課税ニ決セサルヘシト見込活リ候其譯ハ茶ハ要用品
ニテ要用ニ課税シメテハ人氣モ開セント見込テナリ又假令
決シテ課税ニナリテモ其賣レ柄ケハ變ルコトナカルヘシト
申居候其譯ハ茶要用品ナルニ比スレハ税ノ重サ其用ヲ減
スルニ足ラスト見込候故ニ候乍然若シ此茶税今度ノ大統
領ノ公文ノ税額ノ見込ニ倍或ハ三倍ニモ及フ様ナレハ一時
茶商上ニ大關係ヲ顯ハスヘシ併シ夫ニテモ猶茶ノ用止
ムモノニモアラス又久シク課税シ續クモノニモアラス
ト見込居候趣又此見込ノ活ヲ聞キ候ニ付副領事富田氏
等ノ見込ニテハ日本ニ取リテモ變レコトナカルヘシト
為シ日本ニ於テ既ニ課税アル茶ノ輸出税ヲ動カス等ノ思慮

モ決シテ要セサルヘシト見込居ラレ候此議論及其他商事
上ニ就キ要件多ク記載有之候間此ノ月報第四ト号スモ
ノヲ外勢省ヨリ諸備覽有之度候當府ヨリハ今便ニ發サ
レ候條シ右ニ就テ私ノ見込候處ハ亦シ相違有之茶税ハ
前々ニモ課シアリシモノニテ此度再興ノ見込ハ此國ノ
為ニハ上策就テハ遠近共必ス今壹度ハ課スルコトニ決
スヘク之ヲ課スレハ壹時ハ必ス多ク買入ヲ減シ可申費
人ヲ減スレハ又必ス他ノ出產國ヘモ關係致スヘキハ必
定且ツ此事假令皆一時ツノ事ニテ憂フル程ノ事ニア
ラストハ乍申外國ノ根柢大ナル商人ニハ然リ我邦ノ根
柢小ナル茶商人ニ取リテハ或ハ僥倖ヲ見ル者モアラン
カナレ比到底其動搖毎ニ智ノ是テナル處ヨリセシメラ
レ金ノ是テナル處ヨリセシメラレ外人ノ愚弄ヲ受ケテ

一廉シタリ 顔ニテ 國ノ損ヲ為スコト 茶商ノ取扱ヲモ含ム
必定ト存候然テハ 何如スヘキ哉ト問フニ 別ニ策ハ無之
候得共 朋公方ハ 固ヨリ 國國ノ茶事ニ関スル者ハ 此事大
統領ヨリ出テ 且至テ 収税法ノ 簡便ナルモノナレハ 遠近
必ス行ハルヘキモノト見仰シ行ハルレハ 陸テ又買人モ
多少減スヘク 減スレハ 我國ヘモ 多少ハ 響クヘキモノト
見仰シ 只依頼スヘキハ 人間必要物ノ一ナレハ 其買方省
ケル時ニ至リ 日本茶ハ 品種ヨリシテ 直段今日ハ未夕炭
至ラ要ス 扇ナル故 支那茶ニテ之ヲ省キ 日本茶ニテ仕入
ヲ為スヘシト云ニ至ル 採注意シ 動搖ノ際 僥倖ノ念ヲ絶
テ 今ヨリ一層 培植製テカヲ 尽シ候ヨリ 外無クト存
候若シ 平氣ニテ 減多ニ 保稅ハ 行ハレサルヘシ 又保稅ト
決スルモ 日本ニ 支ル 程ノ事アラハルヘシナラズ 見込

居候テ 万一次シテ 頗ニ 警キ候ヨリハ 豫シテ 思心ヲ 深ク
シ 彌々 培植製テ 尽カシ 若シ 其菓ヲ 得テ 取用國ノ 信ヲ
得ルニ至リ 保稅決シテ 其買入 減スルモ 猶苦シム 尠少ナ
ク 若シ 彌々 決セサレハ 彌 其利ヲ 專ラスルヲ 得候様 致
候方 堅固ナルヘク 存シ 乍併右ハ 甚夕 難キ事ニテ 茶商一
般ニ 右ニ 一致セシムルハ 或ハ 實際行ハレサル 處ニモ 可
有之 故 得共セメテハ 諸察ノ 法 試製掛ナリ 氏右ニ 一致シ
假令 何様ノ 事有之 故 其時ニ至リ 右 顧危 親有之間 教様
希望 致候事ニ 候
一去 暮由 横送ノ 茶ハ 十二月廿八日 無事 着致シ 正ニ 情取申候
後 便ニハ 賣仕切ヲモ 進送スルヲ 得可申ト 存友 初七來ニ 致
シテハ 歸程上 出來ナリ 此趣ニテ 蹉跌ナク 儘 尽力 相成友ハ
必ス 大ニ 利益アラントノ 評判ニ 有之 就テハ 彌益 由 尽力

可相成タノ喜不都合ノ廉凡ニ降迹致其掛リ一味示照
少下度候

第一茶色ハ陸分上ナリ然レ凡火少シ不_レ足故香氣少ナリ
生々香_ナ處アリ今少シ大_火ヲ加ルニ多カラシテ要ス殊ニ其難
ハ上茶ノ方ニ多シ注意アルヘシト云ヘリ

一茶ノ出處殊ナル譯ハ兼知致居タレ凡_知常及_及厚田等知ルノ
克ク混シアルトオモヒシニ混シナキモノト見_レハ_毎箱毎ニ不同アリ
テ其上物ト下物ハ直段ニ四錢オモ_凡クヘシト云ヘリ今
後ハ何レ多分製スルコト故別國ノ茶アルハ必是故製スル
前ニモ製後策ニ詰ムル片ニモ大ナル器ニ盛リ能ク混同ニ箱
ニ盛ルヘキト

一茶ノ中ニ平葉多ク見_レテ直段ニ関係ス箕ニテ簸テ平葉
ノ分ハ粉茶ニ製シ越スヘシ其方利アリ上等ノ茶ヲ製スルニハ

猶更此事大切ナリ

一茶ノ製多クナルト種々ノ雜物混スルモノナリ殊ニ_レケス_レナゾ
多クハルモノナリ今度ノ内ニモ少ク見エタリ注意アルヘシト云
ヘリ

一粉茶ハモチツト粉ニテモ直シ克キ粉ニ平葉及ヒ_レ猶惡_キ茶ヲ
混シテモチツト粉ニシタル粉茶陸分賣レ直數由今度ノ粉茶
ニテモ或拾錢以上ニハ賣レルヘシト云ヘリ尤モ今度ノハ
入賞割合ヨリ多キ故引合ヤ吾ヤハ保レ難ケレ凡元ヲ骨
折テ仕出及積送方等ニモ注意スレハ引合又氣遣ナシ
ト云ヘル

一箱ノ目方重過キ及西_洋人ノ仕出ス箱ハ九拾貳斤ヲ平
均トス此度ノ箱ハ拾五_六斤アリ上夫ハ望間數事ナレ凡
入用タケニ過レハ直段上ルタケ損ナリ其割合拾壹斤ニテ

上ル位ニテ出来ルモノト見ヘタリ注意アルヘシ
一「フリキ」ニテ中包ミスレハ無用ニ近シ速一鉛ヲ用ルテ西
洋人ノ慣習ナルニテヨリ安シ然シテ其品ハ共ニ輸
入物ナリ然ハ安キ輕キ方可然此度幸便ヲ見合セ次第
少ク買調ヘ送ルヘシ又響古スレハ日本ニテモ出来ル事
ノ由之ニ尽カスル様ナル人見付次第為智度存居ナリ今度
試ニ尙箱カ或箱極上法紙ヲ用テ試メシ送り玉ヘ尤モ
右様ノ片ハ其箱ノ上包ノ上ニ目印ヲ要ス且目印ハ
手紙ニモ思メ越シ玉フテ留ス
一「フリキ」ニテハ又一ツノ難アリ小賣店ニアラサレハ箱ヲムキ
出シ廻蓋ヲ取ルコトナキ故尙屋ニテハ小キ丸穴ヲアケテ其
茶ヲ開フルニ「フリキ」固クシテ穴アカズ固リ入ルト云ヘリ私
モ其固リテ居ルヲ見タリ

一箱ノ上書ニ綠茶ト大書シ又頓リ「Green Tea」書テアレハ
是ハ嫌フコトナリ日本ノ此手ノ茶ヲJapan uncolored tea
(日本色ツケサル茶ノ意)又ハ直ニ「Japan tea」(日本茶トモ稱
シテ喜ヒ居リ大ヲ自ラ評判思キ綠茶トスルハ不可ナリ
是非共改書有ヘシ日本本茶トカ大色茶トカ云様
ナル名ヲ下ス方可宜日本茶ノミニテモ然ルヘシ
一上包ノ上ノ文字甚不体載ナリ又包ニ方モ下子ナリ今少シ
奇ノ藤ニ包ムヘシ賣物ニハ花ト云フアリ且前ニモ云様小賣
店ニ至テ賣ル片箱ヲムキ出スモノニテ景氣ニハ小賣店ニ
モ上包ノ終積重モノ故仲々關係少ナカラス且前達テ送り
板ニ摺タル茶ノ上紙ニ習ヒ或ハ其レヨリモ趣向ニテ
手際克位地ヲ見立文字ヲ植エ薄葉紙カ或ハ他ノ紙ニ
スリ上包ノ上ヘ克ク張付タルハ宜敷カラン私税関ニお初

吾候希或ル西洋人茶荷一税関ニテ改判ヲ願ルヲ断リ
許サ、リケレハ然夫今一層注意シテ今モリト判ヲ
押シテ下度ト申立シコト思出友此話ニテモ由推知ア
ルヘシ乍係多分錢ヲカケ或ハ其仕方ニテ間取等ノ事
無ク様注意アルヘシ但シ板ヲ張ルナレハ張タル上ヨリ綿ノモノヲ掛ル
一又上包ニ張ル紙ヲ中ノ箱ノ上部ヘモ張ヘシ大キナル
文字ニテ書立タルヨリハ見メ眞敷カルヘク廻具張ア
ル文字中ノ目ヲハ茶ノ評判ヨクナルト中々貴キ物ニ
ナリ他人之ヲ盗用スルニ至ルモノナリ前使申進汝商
買目平法ノ因テ起ル所ナリ

一箱ノ番号ハ売ツ売ツニ代ルニモ及ハス品物ノ遠アニ
ハ代一同シニハ同号ヲ用テモ眞敷キ由代テモ眞シ
一「インウキーキス」及見本ノ事ハ先便ニモ送レリ必ス間

遠ナク送り越カレハシ其中ニ必ス其平及番号等ヲモ
書キ何ノ品ハ何平何番ニハルト云コト上包ニテ明カニ
分別付振ニ成度モノナリ

一「ビルオブレ」デリ「ソング」ハ売口ノ荷ニ三枚共レルモ
ノ故其式枚ヲ送り越サレ度奈港ヲ中取次ニ頼ム所ニ
ハ売枚ツ、味差越有之ヘシ売枚ハ税関ノ用ニ入ルナ
リ売枚ハ荷物清取タメナリ

一此度ノ茶ハ九五拾錢位ニハ賣レルナラントノ評ナリ
損ハナカルヘシ蓋シ賣レテ見ズバ信シ難シ過日モ申
進セル通り故乍不及此方ノ事ハ副領事富田氏等ノ尽
力ニ由任シ置相成事ニ元ニ怠リナク迎次ニ由試製布
望致候且前条々ノ外猶見少次第無遠慮申進候間申進
候廉々ハ心少捨ナク由改修下一度毎ニ進歩致候様由

尽力有る度也

一十二月廿二日ロース、プラグロヨリノ報告抜沃

武拾七ヨリ三拾壹迄

三拾三ヨリ三拾四迄

三拾六ヨリ三拾八迄

四拾壹ヨリ四拾三迄

四拾七ヨリ五拾迄

五拾三ヨリ五拾迄

五拾八ヨリ六拾迄

一本月中第一手(仲買ト區別スル言)ヨリ受ケタル賣言ノ報

告ニ依レハ七万四千四百箱トメ高ヲ示セリ

内貳万貳千七百箱 綠茶

内貳万箱 日本茶

内貳万九千九百

烏龍

内四万箱

コロンボー及ソウケヨン

一月本茶ノ直段少シ下レリ「フライン」ミ少シ好シ新期迄ノ十分

ノ種日本有ル茶ヲ指スノミト輸出港ヨリノ比較シテ直段

安キ報告ニテ諸般ノ取扱ヲ多渡差止メタルモノ、如シ

係シ費用流行アレハ拾列ナリ日本茶ノ評ヨリハ今四

ノ報告ニテハ支那茶ノ評ヨロシ係シ沃セス

一糸及絹ニ付テハ「ビ」ソ「チャードソン」及「ン」會社ノ十二月廿一日

ノ報告ニ依レニ云ク去月ヨリ本月ニ至ル市景先ツ靜カナル

方製シ上ケタル品種ノ賣捌ケモ甚後ナク製造人モ迄以

用心ヲ起セリ

一本月ノ輸入壹千貳百五拾七箱アリ、生絲ノ貯ニ少、益ニ夕

ル方ナリ然レト支那絲ノ上分ハ直段決シテ弱カラス

一カントン係取用ヨク多ク輸入セリ
 一支那係廻シ糸ノ中ハ賣遠シ
 一日本係ハ云程ノコナシ
 一勤倫市上ハ静ナリ 支那係持之中ニシツカシトセリ
 支那係新流リノ度中モノニ自至用ヒラル、ヲ以テナリ
 支那係直段付アリ四弗貳拾五錢ヲ極下等トシ六弗
 ヲ極上トス故ニ決セス
 一先達テ申進ル事有之シ作放國古郎子ノ子續ニテ凡ッ
 三千七八百弗ノ西京織物ヲ當市或ハ商人ハ輸入セリ
 先方ニテハ相當ニ氣ハリシ由シ
 一近日日本絹類注文仕度トテ来レル者アリ小子ノ手
 許ニハ上織物等見ホモナク雜トシテ直段ノ割合等モ
 不知ニ付作藤氏ト組合居ル江水高遠ト申法律生徒ニ

告ケ知ラセ其後未夕様子ヲ兼知不仕友支那人日本品
 ノ店ヲ開キ當府ノ土地也ニ商由茂居者有之定メテ政府ノ
 カヲ借リタル者ニアラサルヘシト信シ友得共中ニ利徳ア
 ルモノ、如ク現ハ申候我國ノ人ハ陸分作藤氏ノ外売
 或人兼及友者モ有之友得共第一ニ張面売ヲ得潤ハサ
 ルニ付近比間違起リタルニ許沿ノ本ヲ潤フルニ困レル
 極者モ有之趣位ノ事気概アルモノハ實勢ヲ知ラス実勢
 ヲ知ルモノハ気概ナシ歎スヘキノ至ニ有之友ハス哉
 一横濱ニテ二本松系ヲ此地ノ商人ニ賣込ノ趣定メテ是
 迄モ取行致者ナルヘケレモ今度富田氏ノ手續ヨリ手紙
 ヲモ巻シ送る位ニテ互ニ信スルトコロ有之定メテ一層
 取組都合宜敷キコトニ有之シナラント信シ申友者等ト
 同様ニテ織物類モ今年博覽會後ノ都合ニ依リ友テハ

偶流文シタキ人ニモ生徒ト該シ官サセ其採ナル不都
合ハ之ニ採可相成ノ尤採致度モノニ去去年採ノ事
ニ付禮々ト度リ、可然ト申進候處今度彼ノ上採製
セシ者ハ禮儀養ニテモヒト候上トカノ凡少ヲ兼知
仕ル得共採師ナソハ當地ノ人ハ相當ナル身元ト心得
ニ五弗トカ拾弗トカノ禮儀養有ニ去由ヲ兼知致ル
日本入ハ去トテモ千井サキ者ナリ少シ斗リ見本採斗
ヲ製シ商買ノ為ノニ注文スレハ之ニ應スルハ出来ス
政府モ亦其レニ相當シテ五円トカ拾円トカノ禮儀養ヲ
造ストハ政府ト云ヒ人民ト云ヒサテモ「マゴ」トシテ居ル
様ナル國ナリト相突ヒ可申カト氣ガヒガミ申度右ノ
風少若シ本実ノ事ニ去リ最早禮儀養_{禮儀養}ニテ云ニアラ
{ハ中}ニ付{下也} 可然カト存度

一農事新少本年九月分

一學事新少九月分十五日分

三部養送申

一此封中ニ加入致在ノ紙ハ日本紙ニテ吉野紙ノ類カト存ル
此國ニテ齒匠者此紙ヲ用ヒ申ノ本ハ佛朗西ヨリ輸入
ノ品ヲ用ヒ又紙ヲ輸入シ相用ヒ去處日本ノ此紙ヲ用
ヒシヨリ其味ヲ知り今尙武ノ齒匠ハ首トシテ之ヲ用
ヒ去其用途ハケサク引サキテ齒ノ療治ヲ作ス片齒
ヲ洗ヒタル跡ヲキ拭ナリ此紙水ヲ吸フコト最モ早
クシテ佛ヨリ輸入スルモノニ勝ル十倍若シ此紙市中ニ容
易ニ買ウヲ得ルニ至ラハ不遠采ノ齒匠者ハ盡ク之ヲ
用ルニ至ルヘシト當府ノ上位ノ齒匠者ヨリ最知則チ
モラヒ請友見本ニカ、又齒匠夫ノ取用位ナレハ高ノ知
タル夫ニハ去得共其実則ノ妙ハ私ニ去暮ヨリ齒痛、

治癒ヲ清居ルニ舟現ニ熟知頭及小積ヲ大ニ至ル此紙モ亦用
運管ヲ廣メ可中及由ニ製幸便次第此手紙造武ノト古
野紙及同種ノ糊ノ入ナル紙少ク由是相成度
一此地ニ意用碓子製法習古致シ長幸村ニテ此以成業不遠歸
羽致ハ積ノ者有リ歸相迄ノ紙是都台モ有リ及存日本
ニテノコトニテ上ノ都台間台ニ孫越者得共奪敷ハ不存者
返答致至及下西午致迄時由都及追々ノ由見込由院ニ
下及リ、甚夕都台冥致也
右本年第一号便トシテ得貴意度如此及并

ハ等出仕

神鞭志常

勸業權頭河漱秀治殿

追言レ、度清取及茶ノ運賃箱ノ重キ尋港ヨリ別拂ニ運賃ヲ
極メシ及波乞ニ名売竹ニ付九ノ錢、四斗リニ相高ノ處通
常清取茶ノ運賃ハ賣竹ノ四錢位ニテ由來上リ及間注意ア
ルヘシトノ茶商ヨリ申越及運賃常ヨリ倍ニナルハ大キナル事
ナリ就テモ前便申進及通都茶ノ時ヲ競フ片カ或ハ別ノハ
注文アル等ニアラサレハ同ナマニ廻シニシテ此府ハ直付ニテ後賃ハ
此府ニテ拂フ様ニ由仕並相成度存シ但シノインシエーレンスハ由
的束ニ成且由拂置相成度及以上
今号号便ノ本紙中認ノ申サリシガ日本米五分、穀モ陸分
法由有ソウナルロノ白ク揃キタルヲ數不志或并位ツ、日本
横濱渡ニテ揃上ケ売石ニ付日本金何程月方志貫同存
右同様何程ト云フニノ調一其直付ハ大抵昨今上直段
ヲ二臺ニシテ見積リ幸便ニ由羨越相成度連モ実商ニ

掛、去張一、糸ラスに、御子申ナリに、調、度存、此國ニ
テ用ヒ、去、采、七、陸、分、テ、ル、モ、ノ、ニ、也

九年一月八日

神鞭志常

追々會場、モ定ヌラ、由、出、ニ、相成可、在、得、若、別、ニ、由、矣
越相成、度、也

河漱秀治殿

九年第一号ノ附

去年十二月十日附ノ由書及同書中封込有之、**口**号茶箱分
口号茶箱貳ツノ各号毎ノ船積状壹枚ツ、正ニ為、于、致、也

「アメリカニウヨル」テテ

・明治九年一月八日

神鞭志常

勸業寮